

世の中には問題がない人はいません。ですから、問題がないように願ったり、自分だけが大変な問題を抱えているように思のではなく、問題をどのように処理するのが大切です。人の問題、特に人の手に負えない霊的問題をどのように扱うかで、祝福に転ぶか、禍いに転ぶかが決まるのです。どこにその問題を持って行くのが大切なテーマになるので、まず、問題とはどのような性質があるのかを見てください。

1. 霊的問題に制限などない

霊的問題の性質を知りましょう。

- 1) 人と国と時代を選ばない
- 2) 悪霊のやりたい放題(普遍化、多様化)
悪霊が人に合わせて自由に入って来るので
- 3) 精神、肉体、災難、才能
精神に入ると、うつ病、依存症、被害妄想に陥るようにさせ、自分にダメージを与える方向に向かわせ、自殺させることもあります。他人に向かうときは、戦争や殺人を犯します。悪霊が肉体に入ると不治の病になり、災いをもたらす、人の才能に入ると、神様から離れて暗闇に溺れて滅びるように、ものすごい作品を作らせます。
- 4) 誰も止められないし、何も役に立たない
このように悪霊が入るのは、誰も止められず、なにも役に立ちません。
- 5) 霊的無知

しかし、だれも霊的問題だと分からないのです。霊的に無知なので、もがいたり、あきらめたり、超越的な力を求めるようになります。三団体はこの動きを利用して、入り込んでいます。これは、時代が変わり、形が変わってもいつの時代にもあります。クリスチャンの私たちは、霊的問題の性質を正しく理解して、どこに持って行くべきかを正しく聖書から握って、自分のものとしましょう。

2. 霊的問題はキリストへ案内するガイドである

これが、聖書にだけ教えている、霊的問題の処理です。違うところに持って行かず、キリストに持って行きましょう。

- 1) 素直な問いかけ
今日の聖書箇所では、異邦人の女の人が、まず素直にキリストに求めに来ました。それが神様の恵みです。サマリヤの女も、霊的問題を抱えていましたが、キリストの前にひざまずきました。ニコデモは世のすべてを手に入れましたが、霊的問題を抱えていたので、キリストに行きました。霊的問題は、キリストへ案内するガイドです。これ以外の解釈はありません。
- 2) 悪霊の働きと神様の許し
まちがいなく、悪霊の働きですが、そこに神様の許しがあります。
- 3) キリスト or Not
なにが幸せなのかは、キリスト or Not が基

準です。それを胸に刻印しましょう。葛藤で祈れないのは、それが整理できていないからです。

4) 全ての理由(傷)を片付けて、キリストへ問題に対する理由を、正しいか違うのかとか、なにかのせいにしてしまうと、傷として残ります。それらを片付けて、キリストに案内するありがたいことだということだけ残して、キリストに行きつくようにしましょう。

3. 霊的問題は Only キリストの信仰に立たせる祝福である

キリストに案内するだけではなく、Only キリストに立たせる神様の祝福です。

- 1) キリストを離れる数多くの理由
キリストに従っても、キリストを離れる多くの理由があります。侮辱、無視、苦しみ、利害関係で離れることもあります。礼拝していても心が離れている場合があります。多くの理由をサタンは取り上げるでしょう。しかし、この女の人の告白のように「理由はない。

Only キリストです」と告白しましょう。

2) Only キリスト
この女の人は、どうであってもキリストの他には希望はありません。キリストだけが希望で、あなたがキリストですと、告白したのです。パウロも、すべてちりあくただと告白しました。

3) キリストの力が実際に
「それまで言うなら」と、イエス様が悪霊を追い出されました。それはテストされたということです。霊的問題は、行くところはキリストしかありません。他の解釈は、死と罪の原理の中での主張なので、切り捨てましょう。行くべきところは Only キリストです。そのとき、悪霊が追い出され、暗闇が砕かれ、神の国が臨む体験をするでしょう。

問題、特に霊的問題を感謝しましょう。当然(普遍性)だと思い、他人と比較しないで、キリストに向かい、Only の材料にして、神の国を体験する証人となりましょう。

1部-マルコ 7:24-30 霊的問題の行方

なるほど/霊的問題を素直に認めて、キリストと Only キリストに向かう材料にすると神の国を体験出来る。

ならば/問題(霊的)の理由を全て片付けて、感謝と共にキリストに向かおう。

2部-マルコ 3:13-15 イエス様に望まれた人々

なるほど/自分はイエス様に望まれて召されたと確信して祈れるようになれば、必ず神の国を体験出来る。

ならば/日々、祈りにより15の答えと7ミッションを味わい、新しい恵みに預かろう。